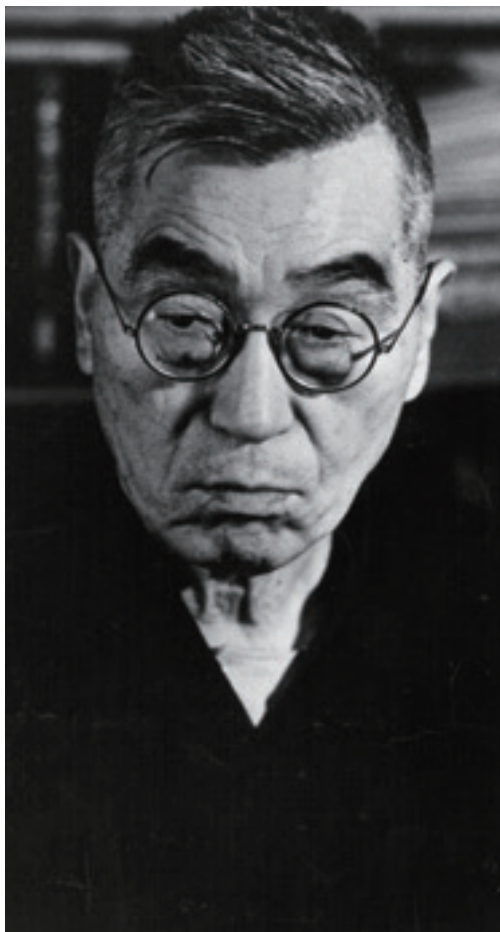


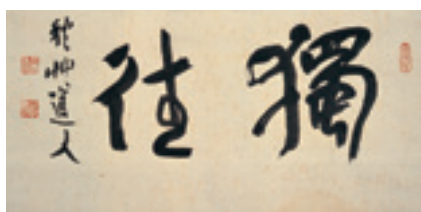
會津八一 撮影／小柳胖



川喜田半泥子

企画展 會津八一と 川喜田半泥子

— 独往と無茶の交流 —



會津八一 書「独往」
新潟市會津八一記念館蔵



川喜田半泥子 粉引茶碗 銘「雪の曙」
石水博物館蔵

2016年10月7日[金]ー12月4日[日] 11月8日(火)から一部展示替

主催／公益財団法人 石水博物館 特別協力／新潟市會津八一記念館

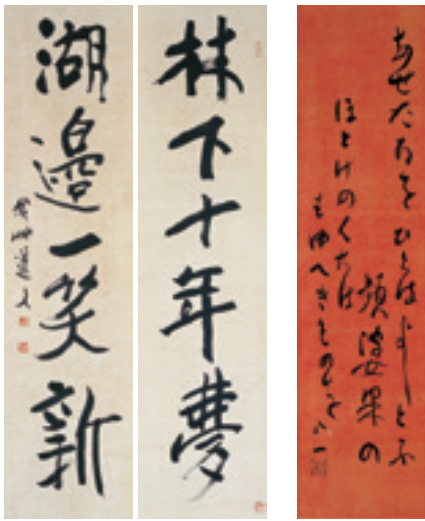
開館時間／10時ー17時(入館は16時30分まで)

休館日／毎週月曜日(但し祝日の場合は翌日:10月10日(月・祝)は開館、翌11日(火)は休館)

入館料／一般500円[400円]・学生300円(高校生以上) ※[]内は20名様以上の団体料金

公益財団法人 石水博物館 <http://www.sekisui-museum.or.jp/>

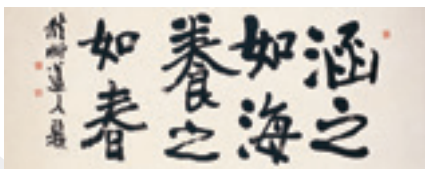
〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18 【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789



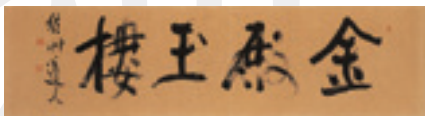
1. 2.



3.



4.



5.

會津八一（1881－1956）は新潟市出身で、早稲田大学教授を務めた東洋美術史学者であり、歌人、書家として知られています。八一は奈良の風光や仏像、寺院にかかわる歌を多く詠み、その調べの美しさは眼前にまざまざと情景を描き出します。また、書家としても独自の世界を切り開き、力強く個性的な書は多くの人を魅了しています。八一は歌壇、書壇に属せず自分の信ずる道を歩み続けた独往の人でした。

川喜田半泥子（1878－1963）は百五銀行の頭取を務めるなど実業家として活躍する傍ら、趣味で没頭した陶芸は型にとらわれない自由な作風で破格と評されています。半泥子は意図的な苦心の作は好まず、平素打ち込んで工夫と練磨の上で「どうとも勝手になれ」という気分で作陶に臨み、自らを無茶人と称する人でした。

企画展 會津八一と川喜田半泥子

— 独往と無茶の交流 —

二人の交流は昭和22年に八一が半泥子に宛てて茶碗を所望する手紙を出したことから始まりました。生涯相まみえることはないまま交わした書簡は合わせて76通にものぼり、八一は半泥子の茶碗を、半泥子は八一の書を所望し、お互いに交換しては高く評価しています。

本展では新潟市會津八一記念館の協力のもと會津八一の芸術世界を紹介し、併せて石水博物館が所蔵する八一作品及び半泥子の陶芸、書画を展示します。そして交わされた書簡の文面から読み取れる二人の芸術観を紹介します。



6.

7.

1. 會津八一 書「林下十年夢 湖邊一笑新」 対幅（前期展示）
 2. 會津八一 歌書「あせたるを」（後期展示）
 3. 會津八一 書「秋州堂」
 4. 會津八一 書「涵之如海 養之如春」（後期展示）
- 以上、新潟市會津八一記念館蔵

5. 會津八一 書「金殿玉樓」
 6. 川喜田半泥子 高麗手茶碗 銘「雅茶子」
 7. 川喜田半泥子 伊賀水指 銘「慾袋」
- 以上、石水博物館蔵

記念講演会 《聴講無料》

「會津八一の美学」

講師：新潟市會津八一記念館館長
神林 恒道氏

日時：11月6日（日）14時～15時30分
（13時30分開場）

会場：三重県立美術館講堂
（津市大谷町11番地）

申込方法：石水博物館まで電話にて
（電話：059-227-5677）

定員：申込先着150名様

ギャラリートーク

日時：2016年10月8日（土）、22日（土）、
11月3日（木・祝）、12日（土）、26日（土）
各日14時より30分程度

担当学芸員が展覧会をご案内します。

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

同時開催（1階回廊）

「會津八一の歌を映す」
秋艸道人賞写真コンテスト
第1回～8回大賞作品展

主催：公益財団法人會津八一記念館

次回展覧会

館蔵品展

《江戸時代を歩こう！→古絵図・錦絵・名所図会を携えて→》
会期：2016年12月9日（金）～2017年2月5日（日）

展示替休館 12月5日（月）～8日（木）

交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス（久居駅方面行）にて15分、「青谷口」下車徒歩8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス（津駅方面行）にて10分、「青谷口」下車徒歩8分
- JR阿漕駅より徒歩12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線（久居方面）へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道（角に緑の看板あり）を左折、約300m 先左側。（駐車場 15台）

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<http://www.sekisui-museum.or.jp/>



企画展

會津八一と川喜田半泥子—独往と無茶の交流—

平成28年10月7日(金)～12月4日(日)

前期:10月7日(金)～11月6日(日) 後期:11月8日(火)～12月4日(日)

番号	作品名	作者	形態・技法など	所蔵者	展示期間・備考
第1章 會津八一の世界					
1 八一の書画・歌書					
1	獨往	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
2	自画像図・かまづかの	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
3	梅花図・萬里江南雪・あをがひの	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
4	木菟図・みみづくの	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
5	みとらしの	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
6	おほてらの	會津八一	軸 紙本墨書	BSN新潟放送 (新潟市會津八一記念館寄託)	後期展示
7	文殊菩薩図・はつなつの	棟方志功版画 會津八一歌書	軸 紙本墨書・版画	新潟市會津八一記念館	前期展示
8	普賢菩薩図・やまとには	棟方志功版画 會津八一歌書	軸 紙本墨書・版画	新潟市會津八一記念館	前期展示
9	新薬師寺歌碑原稿「ちかづきて」	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
10	みほとけの	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
11	飛天図・すゐえんの	杉本健吉画 會津八一歌書	軸 紙本墨書・水彩	新潟市會津八一記念館	後期展示
12	みやこべを	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
13	あせたるを	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
14	吊し柿図・あさひさす	中田瑞穂画 會津八一歌書	軸 紙本墨書・着色	新潟市會津八一記念館	前期展示
15	伎楽面図・いかでわれ	杉本健吉画 會津八一歌書	軸 紙本墨書・着色	新潟市會津八一記念館	後期展示
16	鉢の子図・あさやまを	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
17	貼り交ぜ屏風	會津八一	六曲一双 紙本墨書	個人 (新潟市會津八一記念館寄託)	
2 八一の洋画					
18	會津八一肖像	亀高文子	油彩 カンヴァス	個人 (公財)會津八一記念館寄託)	
19	書籍及び鉢	會津八一	油彩 カンヴァス	新潟市會津八一記念館	
20	筆洗及び水滴	會津八一	油彩 カンヴァス	新潟市會津八一記念館	
3 八一の書 I					
21	秋艸堂人墨戲	會津八一	折帖九面 紙・板・墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
22	村莊雜事	會津八一	折帖	新潟市會津八一記念館	後期展示
23	學規	會津八一	額 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
24	雙柿舎(複製)		木額	新潟市會津八一記念館	
25	秋艸堂	會津八一	額 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
26	たちいでて	會津八一	扁額 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
27	新年同詠船出應制歌 ふなびとは	會津八一	額 紙本墨書	BSN新潟放送 (新潟市會津八一記念館寄託)	
28	及其至也 不亦楽哉	會津八一	木聯 木製二面	新潟市會津八一記念館	
4 八一の周辺資料					
29	般若心經の一節	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
30	觀音堂	會津八一	折帖 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
31	原稿「山鳩」	會津八一	原稿用紙	新潟市會津八一記念館	後期展示
32	『自註鹿鳴集』草稿 四「村莊雜事」	會津八一	原稿用紙	新潟市會津八一記念館	後期展示
33	富樫正禪宛書簡	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
34	自用印		二十八顆	新潟市會津八一記念館	
35	文房具		筆、硯、文鎮、水滴、 朱肉、墨	新潟市會津八一記念館	後期展示

36	端艇部脱會願	會津八一	原稿用紙 墨書	新潟市會津八一記念館	
37	成績表写	會津八一	原稿用紙 ペン	新潟市會津八一記念館	
38	面會謝絶	會津八一	一紙 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
39	旅行カバン		布 墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
40	歌をよむには	會津八一	卷子 書簡	新潟市會津八一記念館	
41	おほらかに	會津八一	色紙 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
42	ほほゑみて	會津八一	色紙 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
5 八一の書 II 漢詩と禪語より					
43	李白詩	會津八一	十二幅 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期六幅、後期六幅
44	蘭亭序	會津八一	卷子 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
45	返照入閨巷・いりひさす	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
46	北冥有魚	會津八一	額 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
47	涵之如海 養之如春	會津八一	額 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
48	不恨我不見古人	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
49	蝦蟇図「不恨我不見古人」	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
50	達磨図・闔國人追不再來	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
51	菊図 山氣日夕佳	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
52	林下十年夢 湖邊一笑新	會津八一	軸(対幅) 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	前期展示
53	始随芳草去 又逐落花回	會津八一	軸(対幅) 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	後期展示
54	行到水窮處	會津八一	軸 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
55	相見呵々咲 園林落葉多	會津八一	軸(対幅) 紙本墨書	新潟市會津八一記念館	
第2章 独往と無茶の交流					
1 八一が半泥子に贈った書画					
56	茶碗図	會津八一	額 紙本墨画	石水博物館	
57	鳴穂堂	會津八一	扁額 紙本墨書	石水博物館	
58	金殿玉楼	會津八一	扁額 紙本墨書	石水博物館	
59	獨往	會津八一	扁額 紙本墨書	石水博物館	
60	たびびとの	會津八一	軸 紙本墨書	石水博物館	
61	みみづく図	會津八一	軸 紙本墨画	石水博物館	
62	獨往	會津八一	一紙 紙本墨書	石水博物館	
63	さよふけて	會津八一	一紙 紙本墨書	石水博物館	
64	幾人得其趣	會津八一	短冊 紙本墨書	石水博物館	
65	いまのよに	會津八一	短冊 紙本墨書	石水博物館	
66	おりたてば	會津八一	短冊 紙本墨書	石水博物館	
2 二人の書簡					
67	川喜田半泥子書簡 會津八一宛	川喜田半泥子		新潟市會津八一記念館	
68	會津八一書簡 川喜田半泥子宛	會津八一		石水博物館	
69	『ばかやろうの記』	川喜田半泥子	冊子	石水博物館	
第3章 川喜田半泥子の世界					
1 半泥子の陶芸					
70	黒茶碗 銘「無茶太郎」	川喜田半泥子	昭和15年頃 千歳山窯	石水博物館	
71	井戸手茶碗 銘「雨後夕陽」	川喜田半泥子	昭和16年頃 千歳山窯	石水博物館	
72	井戸手茶碗 銘「初紅葉」	川喜田半泥子	昭和22年 廣永窯	石水博物館	
73	粉引茶碗 銘「たつた川」	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	
74	刷毛目茶碗 銘「一声」	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	
75	志野茶碗 銘「おらが秋」	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	
76	粉引茶碗 銘「雪の曙」	川喜田半泥子	千歳山窯	石水博物館	
77	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	
78	赤楽大茶碗 銘「閑く恋慕」	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	
79	黒織部茶碗 銘「富貴」	川喜田半泥子	昭和15年頃 千歳山窯	個人(石水博物館寄託)	

80	伊賀水指 銘「慾袋」	川喜田半泥子	昭和15年 千歳山窯	石水博物館	
2 半泥子の書画					
81	無茶	川喜田半泥子	軸 昭和30年 紙本墨書(淡彩)	個人(石水博物館寄託)	
82	茶碗図	川喜田半泥子	軸 紙本墨画	石水博物館	
83	千歳山の墓図	川喜田半泥子	軸 昭和33年頃 紙本墨画	石水博物館	
84	泥多佛大	川喜田半泥子	扁額 紙本墨書	半泥子廣永窯	1階第1展示室に展示
85	幽照	川喜田半泥子	扁額 昭和19年頃 紙本墨書	百五銀行	1階第1展示室に展示
86	自画像	川喜田半泥子	油彩 カンヴァス	半泥子廣永窯	1階第1展示室に展示
3 半泥子の茶席					
87	唐津手茶碗 銘「三笠山」	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	2階茶席に展示
88	赤絵紅葉絵水指	川喜田半泥子	廣永窯	石水博物館	2階茶席に展示
89	苦茶	川喜田半泥子	軸 昭和30年頃 紙本墨書	石水博物館	2階茶席に展示
90	旅枕花入	川喜田半泥子	千歳山窯	石水博物館	2階茶席に展示